

協会ニュース

令和3年3月××日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.orjp URL http://qmac.jp/

令和2年度第3回シンポジウム「市場創造と技術革新」

開催日時 : 令和3年2月22日(月) 13:20 ~ 17:00
場 所 : 広島商工会議所ビル3階 307会議室(WEB形式セミナー)
参加者 : 21企業・団体 223名

令和2年度第3回シンポジウム「市場創造と技術革新」は、当協会会員である日本規格協会様のご協力の下、WEB形式での開催となりました。

近年、国内外でデジタル技術を活用した生活スタイルの変化、製品、サービス、ビジネスモデルの変革が加速しており、「DX(デジタルトランスフォーメーション)」という言葉が新聞報道等で目にすることも多くなっています。

そこで、今回のシンポジウムでは、DXをテーマとして、DX事業を展開している富士通株式会社様とDXによる行政改革を推進されている広島県様から講師をお招きし、ご講演頂きました。

講演第1部では、『先進デジタル事例から考察する企業のDX戦略』と題して、富士通株式会社 理事 首席エバンジェリスト 中山 五輪男氏からDXに関する解説、最新技術や進め方のポイントについてご講演頂きました。デジタル化における世界の中での日本の位置付けなど興味深いお話や事例をご紹介頂き、DXの理解が深まりました。

講演第2部では、『雨にもマケズ 風にもマケズ そしてコロナにもマケナイ そんなヒロシマになりたい ~ ヒロシマアップデート ~』と題して、広島県 総務局 総括官(情報戦略)DX推進本部 副本部長 桑原 義幸氏から広島県におけるDXの取り組みについてご講演頂きました。県の職員向け働き方改革、県内企業との連携や支援策について詳しくお話頂き、広島県として多くの取り組みを実施されている事を理解しました。

お二人のご講演後、広島工業大学 学長 長坂 康史 先生をコーディネーターとして迎え、パネルディスカッションが行われました。白熱したディスカッションが繰り広げられ、大いに盛り上がりました。特に印象的だったのは、お二人が共通で語られていました「DXとは、デジタル化する事よりもトランスフォーメーションする事が重要だ。」というお言葉でした。

シンポジウム当日は21企業・団体 223名と多数の方にご参加いただき、アンケート結果では、『DXについて理解できた。』『自社の取り組みの参考にしたい』『DXをテーマとした第2弾お願いしたい』などの感想やご要望が寄せられ、非常に有意義なシンポジウムになりました。



富士通株式会社
中山 五輪男 氏



広島県
桑原 義幸 氏



左からコーディネーターの長坂 氏、
桑原 氏、中山 氏